

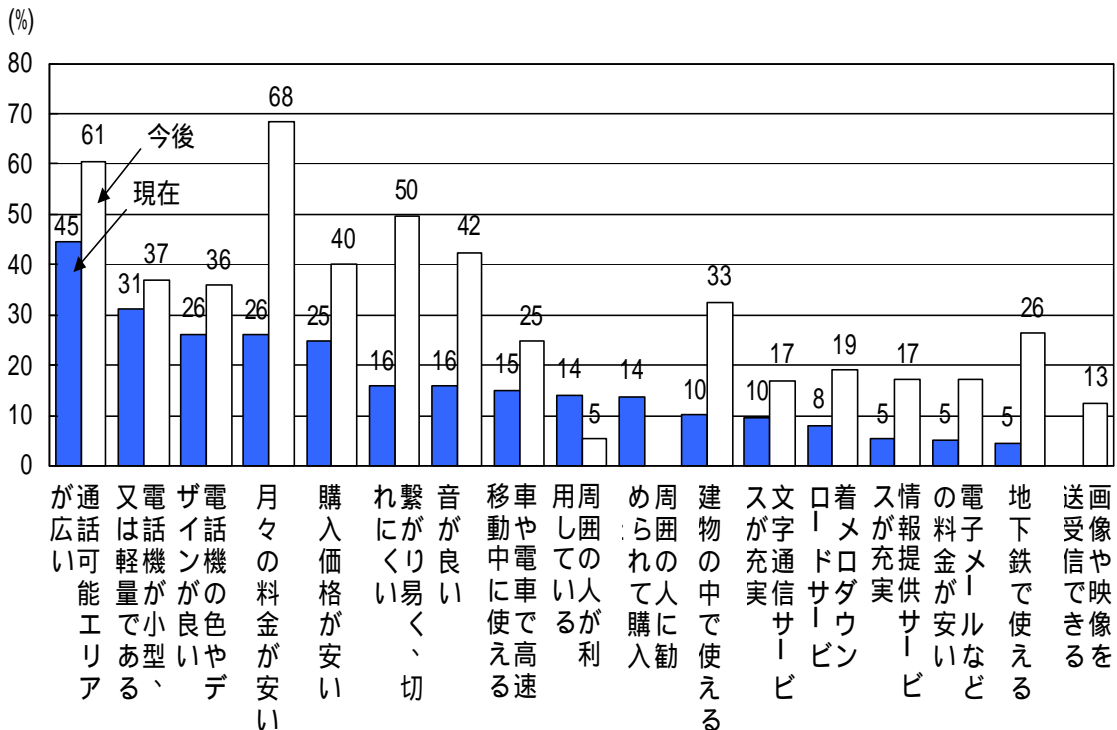
参考資料1 固定電話通話料金表

【平日昼間(8~19時)3分間の通話料金】

	基本料金	市内電話	県内市外				県外通話						国際				
			隣接地域 ~20km	~30km	~60km	60km超	隣接地域 ~20km	~30km	~60km	~100km	~170km	170km超	米国	英国	中国	韓国	
NTT東西	1750円	8.5円	20円	30円	30円	40円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A	-	8.5円	20円	30円	30円	40円	20円	30円	40円	60円	80円	80円	160円	420円	420円	330円	
B	-	8.5円	20円	30円	30円	40円	20円	30円	40円	60円	80円	80円	180円	430円	490円	370円	
C	-	8.5円	20円	30円	30円	40円	20円	30円	40円	60円	80円	80円	180円	420円	490円	370円	
D	-	8.4円	12円	18円	18円	27円	14円	18円	27円	36円	54円	54円	132円	315円	381円	291円	
E	-	8.4円	18円	18円	27円	27円	18円	18円	30円	50円	70円	70円	-	-	-	-	
F	-	-	17円	20円	20円	25円	14円	20円	25円	25円	45円	45円	180円	420円	490円	370円	
G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150円	165円	465円	315円	
H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75円	117円	177円	147円	
I	-	-	20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円	90円	180円	270円	270円	

- (備考) 1. 各社 HP より作成。  
 2. 2001年6月1日現在の一般電話同士の通話料金である。  
 3. 網掛け部は、同じ範疇の中で最安値のものを示す。

参考資料2 現在及び今後の携帯電話等の選択の際に重視するポイント



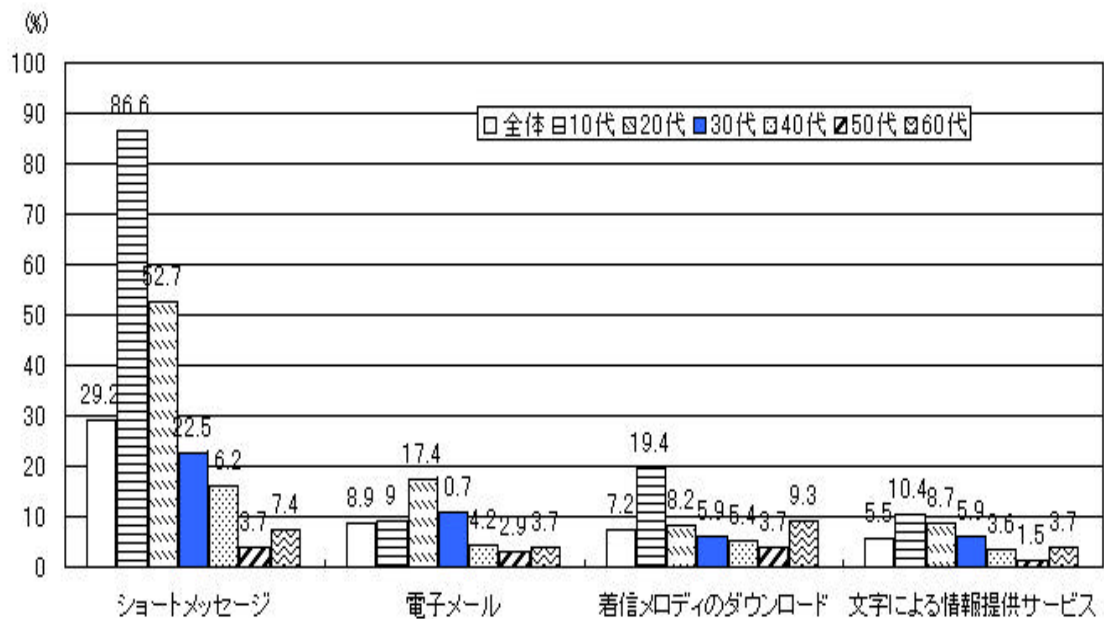
- (備考) 1. 総務省(旧郵政省)「平成12年度通信白書」より作成。  
 2. 現在及び今後の選択理由で10%未満の項目は捨象した。

参考資料3 ネットワークサービスの種類（例示）

	種類	サービス開始年月日	内容
NTT 東日本・西日本の提供するサービス	プッシュ回線サービス	1969.5	ダイヤル回線に比べ、つながる速度が早い。
	キャッチホン (通話中着信サービス)	1970.11	話中にかかってきた電話もキャッチする。
	ダイヤルインサービス (番号情報送付機能)	1977.1	PBXの内線への着信の際、直接目的の内線へ着信させる。
	迷惑電話お断りサービス	1994.8	迷惑電話を受けた直後に、電話機からの登録により、以降同じ電話番号からの着信に対して、電話が受けられない旨のメッセージを自動的にアナウンスする。
	ボイスワープ	1996.6 (ボイスワープ セレクトは 1997.6)	着信をあらかじめ登録した別の電話(携帯電話、 Pager も可)に転送する。相手によって転送するかしないかも設定可能な「ボイスワープセレクト」もある。
	発信電話番号表示サービス (ナンバー・ディスプレイ)	1998.2	かかってきた相手の発信電話番号を応答前に通信機器に通知するサービス。
	マジックボックス	1999.7	不在時や話中で電話に出られないとき、その電話のメッセージを録音、契約者に通知する。転送機能、キャッチホン機能もある。
	i・ナンバー	1999.7	INSネット64もしくはINSネット64・ライトi回線で今の電話番号に加えて2つめの電話番号が持てるサービス。
NTT コミュニケーションズ の提供するサービスの	フリーダイヤル	1985.12	契約した電話にフリーダイヤル0120専用の番号をつけ、そこに着信する通話料は受ける側で負担するサービス。全国共通の電話番号、広域代表などのサービスがある。
	テレゴンゲ	1993.11	契約者(企画者)がテレビ/ラジオなどを通じて、各設問の選択肢の電話番号をPRし、視聴者、購読者から各番号にかかってくる通話(投票呼)をカウントする電話投票サービス。
	テレドーム	1993.11	契約者が1本の音源回線で、同時に発生する複数の通話に対して、話中なく情報提供が行える大量情報提供サービス。
	ナビダイヤル	1997.5	0570という一般の電話番号と異なる番号を使用して、契約者の指定した地域からの通話を、契約者が指定した着信地に接続するサービス。料金は発信者に課金される。

(備考) (株)情報通信総合研究所編「情報通信ハンドブック 2001年版」より作成。

参考資料4 データ通信サービスの利用状況



(備考) 総務省(旧郵政省)「平成12年度通信白書」より作成。

参考資料5 国際通話料金と内外価格差

(単位: 千円/年)

			ニューヨーク	ロンドン	パリ	デュッセルドルフ	ジュネーブ
住宅用	通常料金	東京発	54	123	159	159	220
		東京着	56	91	58	104	92
	割引料金	東京発	48	111	142	142	197
		東京着	19	91	58	104	69
事務用	通常料金	東京発	116	282	373	373	467
		東京着	225	190	118	208	199
	割引料金	東京発	102	246	324	324	406
		東京着	38	138	106	208	149

(備考) 1. 総務省(旧郵政省)「平成11年度電気通信サービスに係る内外価格調査」(2000年8月)より作成。

- 東京モデルによる比較。
- 換算為替レートは、2000年8月1日の東京市場の為替レート。
- 東京発はKDD、ニューヨーク発はAT&T、ロンドン発はBritish Telecom、パリ発はFrance Telecom、デュッセルドルフ発はDeutsche Telecom、ジュネーブ発はSwisscom。
- 東京モデル: 1995年度におけるKDDの時間帯別の利用実績に基づき設定したモデル(住宅用は年間約18時間、事務用は約352時間利用)。

## 参考資料6 国際通話部門でのサービス及び割引サービス

### 【主な国際通話サービス】

国際通話ダイヤル	オペレータを通さず、ダイヤル直通で海外へつながる通話サービス
国際オペレータ通信	オペレータが通話をつなげるサービス。国際電話に不慣れな場合、外国語が苦手な方などに最適なサービス
料金即知	通話終了後、「通話時間と料金」を知らせるサービス
日本から海外へのダイヤル通話	日本から海外へ、国際電話がかけられるクレジットコールサービス
海外から日本へのダイヤル通話	海外から日本へどこからでもキャッシュレスでダイヤル直通電話がかけられる国際クレジットコールサービス
カードサービス	日本国内での市外通話、日本から海外、海外から日本を含めた世界への国際電話、海外での市外通話がキャッシュレスになるカード
国際トールフリーサービス	外国から日本宛の通話が自動的に着信払いとなるサービス
国際通話料金管理サポートサービス	1カ月の国際通話料金の合計や通話時間がリミット（1カ月の利用上限額・上限時間）に達すると、その通話をカット（切断）する料金管理サポートサービス
前払い	コンビニエンスストア等で前払金を支払い、あらかじめ利用可能な時間を通知してくれるサービス。前払い金に応じてプレミアが付いている場合が多い
料金着払い	相手方に料金を支払ってもらうサービス
料金受信者払い	通話料金受信者払いサービス
請求先指定	登録の電話番号からの通話料金を指定の電話番号宛に請求するサービス

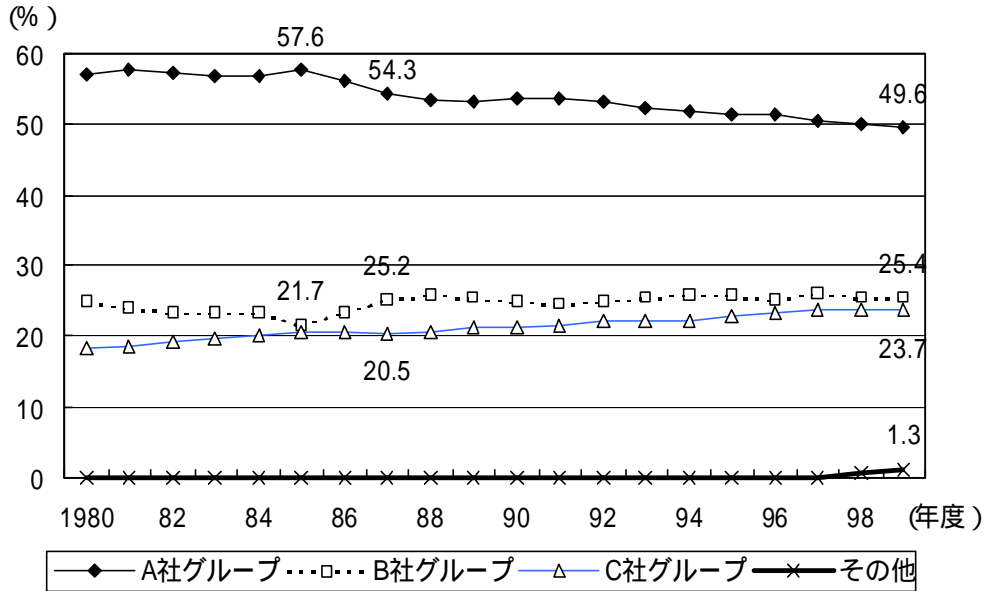
### 【国際通話の主な割引サービス】

個人向け	利用年数に応じた割引サービス	利用年数に応じて一定限度まで割引率がアップする割引サービス
	利用額に応じた割引サービス	一定額以上の通話に応じて一定限度まで割引率がアップするサービス
	通話頻度に応じた割引サービス	通話料金の多い(通話頻度の高い)相手先順に段階をつけて割り引いてゆくサービス。
	時間帯に応じた割引サービス	特定時間帯及び土日、祝日等の通話料金を一定額割引くサービス。
企業向け	利用年数に応じた割引サービス	利用年数に応じて一定限度まで割引率がステップアップするサービス。
	利用額に応じた割引サービス	一定額以上の通話料を使用することにより、一定の割引率の適用を受けるサービス。 利用額に応じて通話料金の割引率が一定限度までアップする割引サービス。
	事前に設定された利用年数と通話額に基づき、割引率を定めるサービス	利用年数と利用額を事前契約し、割引を先取りする制度サービス

(備考) 1. 各電気通信事業者 HP より作成。

2. 上記サービスには国際電気通信事業固有のサービスでないものも含まれている。

参考資料7 国内航空旅客運送数のシェア



(備考) 国土交通省(旧・運輸省)「航空輸送統計年報」より作成。

参考資料8 主な割引運賃制度

	既存A社	既存B社	既存C社	新規D社	新規E社
往復割引運賃	往復割引：約15%割引 往復特割：往復かつ特定便最大36%割引	往復割引：約15%割引 シャトル便往復割引：(東京～大阪間のみ)約22%割引	往復割引：約13～18%割引 シャトル便往復割引：(東京～大阪間のみ)約22%割引	往復割引：(東京～札幌)約14%割引	
事前購入割引運賃	早割21：21日前までに予約。最大60%割引	前売り21：21日前までに予約。26～65%割引	3週割引：21日前までの予約。設定日、適用路線限定。月～木曜：約40～61%割引。金～日曜・祝日：約30～50%割引	カウントダウン割引：56日～21日前までに予約。約26～57%割引 スカイバリュー：前日までに予約。約12%割引	
特定便割引運賃	特割：前日までに予約。最大53%割引	特売切符：前日までに予約。約28～51%割引	割引きっぷ：前日までに予約。約14～55%割引	モーニングサービス：(始発便)約30%割引 スターライトサービス：(最終便)約37%割引	おはよう割引：(始発便)20%割引 こんばん割引：(最終便)30%割引
搭乗時間・予約期間限定割引運賃	超割：指定予約期間内に予約。全便10000円		売出5日間割引：売出日から5日間以内に予約。最大約66%の割引		

(備考) 1. 内閣府 HP「公共料金の窓」より作成。  
2. 割引率等は、2001年2月1日現在の状況とした。

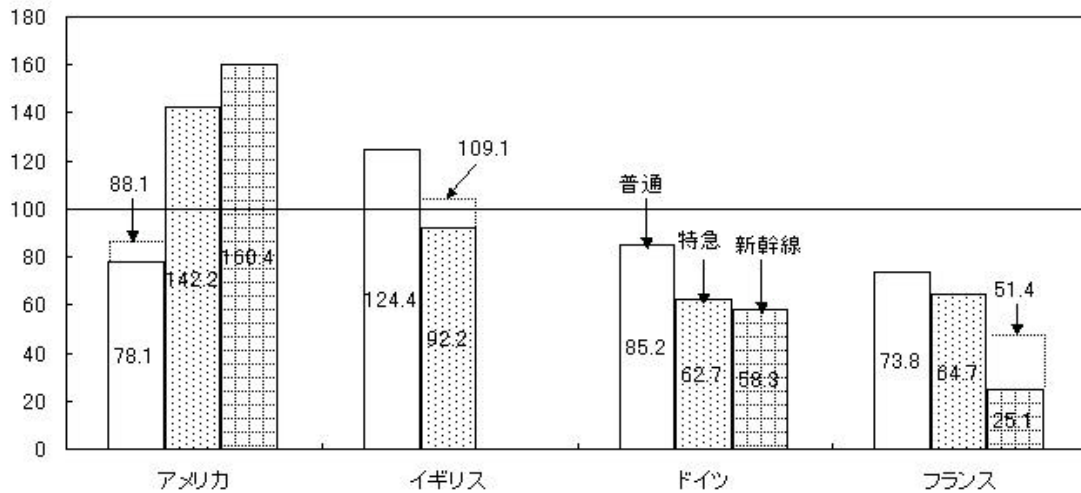
参考資料9 JR（国鉄）及び大手私鉄の運賃改定状況

JR（国鉄）	
改定年月	改定率
1982. 4	6.1%
84. 4	8.2%
85. 4	4.4%
86. 9	4.8%
89. 4	2.9%
96. 1	
JR北海道	7.0%
JR四国	6.7%
JR九州	7.8%
97. 4	1.9%

大手私鉄		
改定年月	改定率	対象事業者
1984. 1	13.5%	名鉄、西鉄を除く12社
85.10	15.3%	名鉄
86. 2	12.7%	西鉄
87. 5	10.2%	関西5社+京成電鉄
88. 5	10.4%	京成電鉄を除く関東6社
89. 4	3.0%	14社
90. 3	14.4%	名鉄
91.11	13.8%	名鉄、西鉄を除く13社
93. 7	16.6%	西鉄
95. 9	14.7%	西鉄を除く14社
97. 4	1.9%	西鉄を除く14社
97. 7	17.1%	西鉄
97.12	-9.1%~8.5%	東武、西武、京王、小田急、東急
99. 2	8.3%	相模鉄道

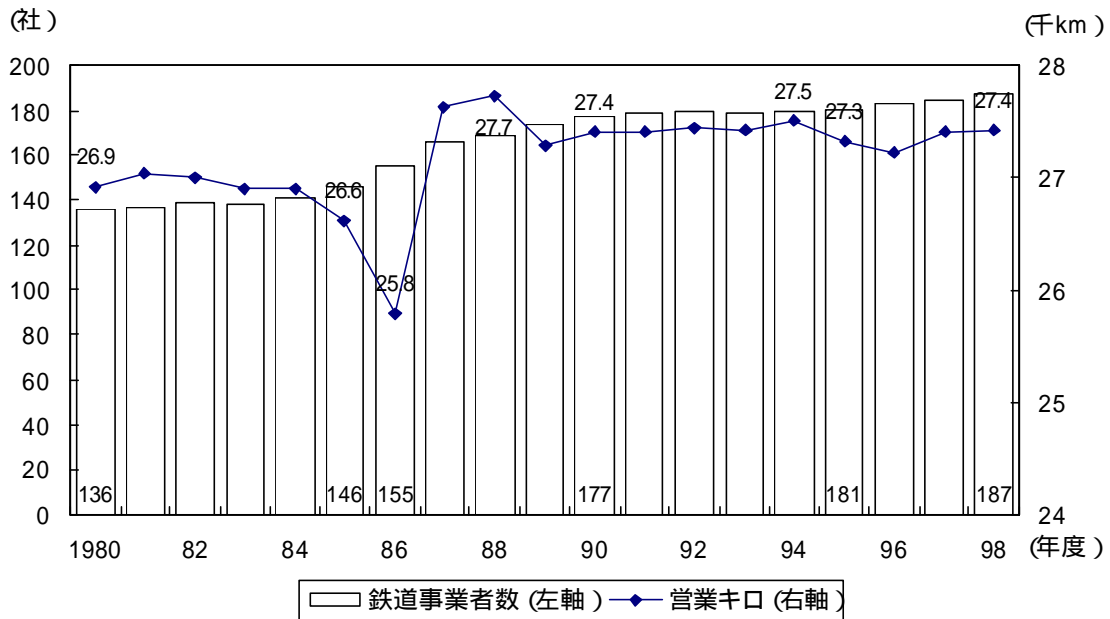
- （備考）1．内閣府 HP「公共料金の窓」より作成。  
2．相模鉄道は91.11の改定より大手私鉄として取扱。

参考資料10 鉄道運賃の内外価格差（日本 = 100）



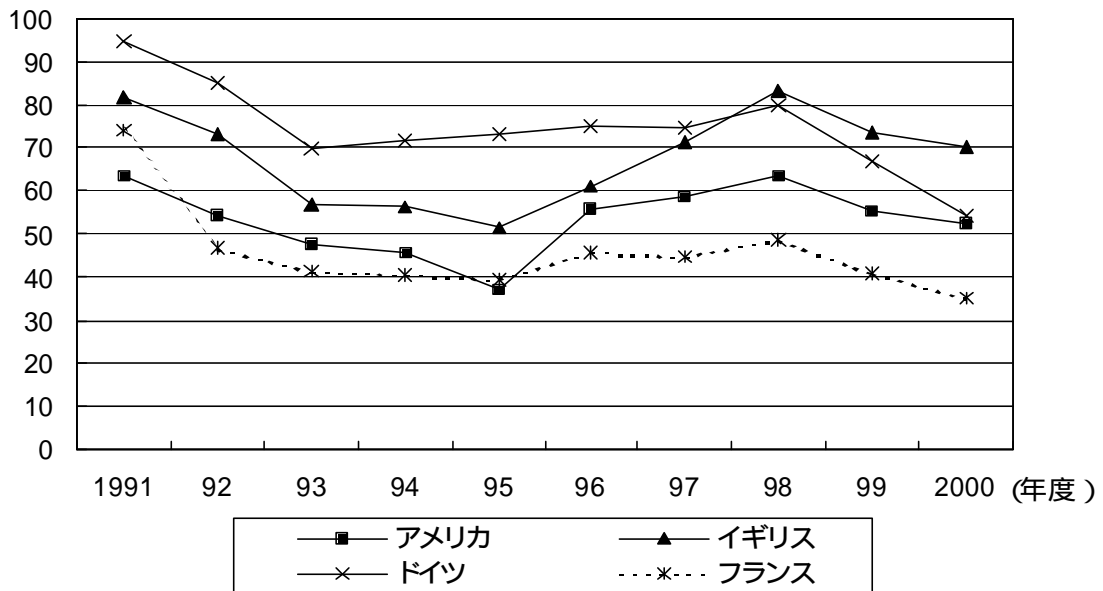
- （備考）1．本図表は2000年11月の数値である。  
2．大和総研「公共料金の内外価格差に関する調査」（内閣府委託調査）より作成。  
3．本図表における指数の基となる鉄道運賃は、アメリカはアムトラック鉄道（新幹線、特急）とメトロポリタン交通公社（普通）、イギリスはグレートノースイースタン鉄道（特急）とウエストアングリアングレートノーザン鉄道（普通）（新幹線に該当する形態はなし）、ドイツはドイツ鉄道（新幹線はICE、特急、普通は在来線）、フランスはフランス国鉄（新幹線はTGV、特急、普通は在来線）である。なお、アメリカ、イギリスは路線別運賃のため、それぞれ、ニューヨーク、ロンドンを基点にしたサンプル調査の結果である。  
4．アメリカの普通鉄道運賃、イギリスの特急鉄道運賃、フランスの新幹線運賃は、ルートや時間帯、購入時期等により運賃が異なるため、幅をもって表示した。  
5．為替レートは、IMF2000年平均レートである。1ドル = 107.77円、1ポンド = 163.39円、1マルク = 50.77円、1フラン = 15.14円を上記の全ての料金に適用。

参考資料 1 1 鉄道事業者数及び営業キロの推移



- (備考) 1. 国土交通省「陸運統計要覧」より作成。  
 2. 1987年度以降の営業キロには、従前は在来線の「線増」扱いであった新幹線が「独立路線」として計上されている。

参考資料 1 2 タクシー料金の内外価格差の推移 (日本 = 100)



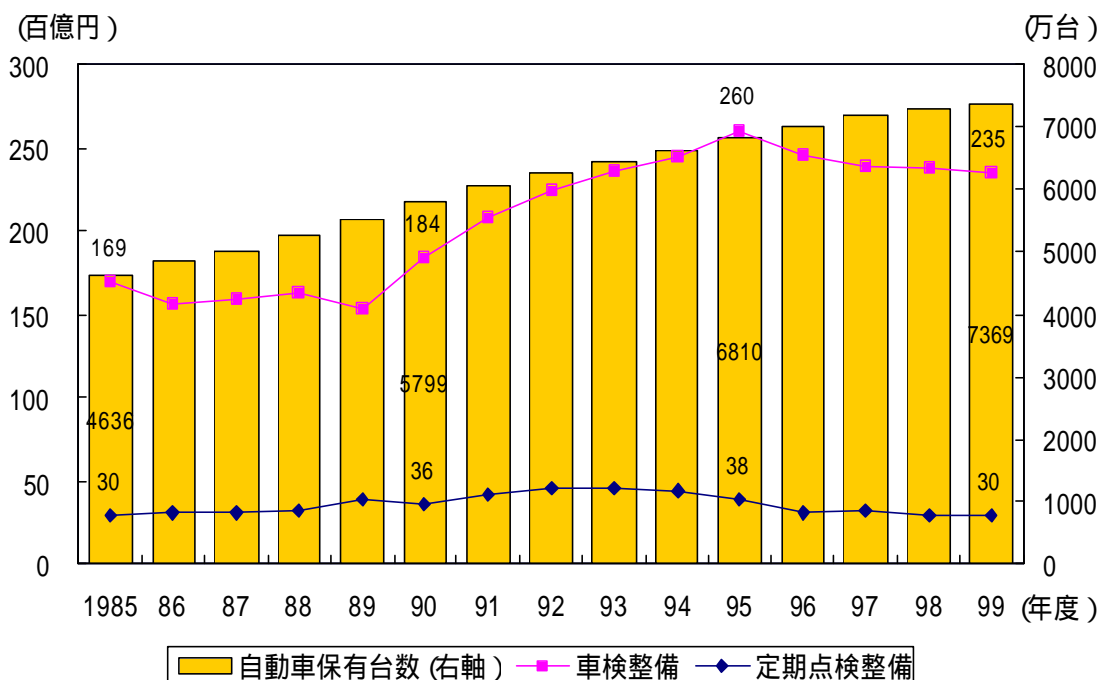
- (備考) 1. 内閣府「物価レポート」より作成。  
 2. 本図表の数値は各年 11 月現在の数値である。  
 3. 昼間 5km、乗客 1 名、荷物なしという状況下での比較である。  
 4. 為替レートは、各年の IMF 年平均レートを使用。

参考資料 1 3 乗合タクシーの普及状況

		コース数
団地型	深夜や早朝、駅と団地を結ぶコースを中心に運行	61
過疎地型	廃止されたバス路線やバスの運行していない地域を運行	125
都市型	終バスや終電後を中心にターミナル駅を出発点として一定のエリア内を運行	14
空港型	空港と最寄り駅を結ぶコースを運行	22
観光型	バスの通れない狭隘な道の多い観光地で運行	19
通院型	路線バスの運行していない地域において総合病院と市内を結ぶコースを運行	3
その他	上記以外のもの	6

(備考) 1. 国土交通省「平成12年度運輸白書」より抜粋。  
 2. 平成12年4月1日現在の運行状況である。

参考資料 1 4 自動車保有台数と車検及び定期点検整備売上高の推移



(備考) 1. (財)自動車検査登録協会「わが国の自動車保有動向」、(社)日本自動車整備振興会連合会「自動車整備白書」より作成。  
 2. 車検整備と定期点検整備の売上高は各年6月末現在の実績である。